

# 大麻の乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

## 若者の大麻乱用が増えています！

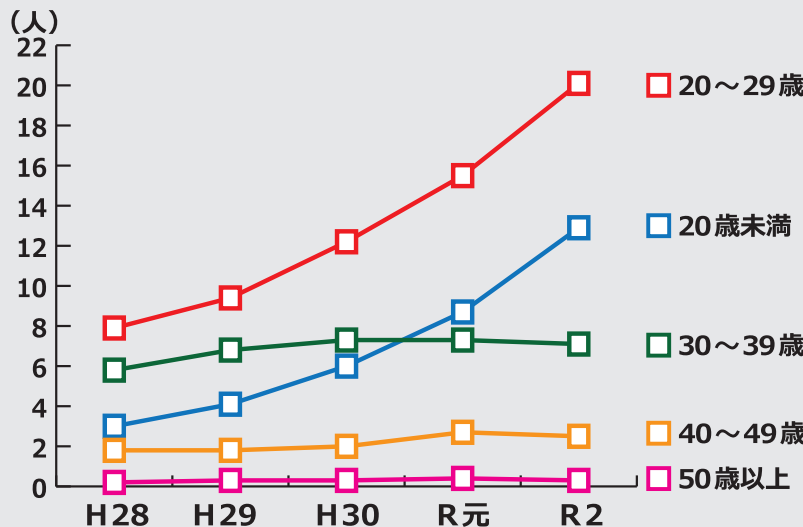
近年、大麻事犯の検挙人員が過去最高を更新し続け、増加の一途をたどっており、特に右記のグラフのとおり、20歳未満、20～29歳の若年層による乱用が深刻な問題となっています。

警察庁の調べによると、若年層は友人・知人等から誘われるなど、周囲の環境に流されて大麻に手を出す傾向があります。

また、年齢層を問わず、大麻に対する危険性の認識が低下しています。



【人口10万人当たりの大麻事犯検挙人員の推移】



出典：「令和2年における組織犯罪の情勢」(警察庁)  
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/kikakubunseki/index.html>

## 大麻に関して誤った認識をしていませんか？



合法化している国があるんだから危険性はないんじゃないの？

### 大麻は危険な薬物です!!

海外の一部の国で大麻が合法化されている理由は、安全だからではなく、既に規制できないほど広まってしまったからです。大麻は、幻覚作用、記憶障害、学習能力の低下、知覚の変化などを引き起こす危険な薬物です。



合法化している国に行って使用するなら問題ないんだよね？

### 罪に問われることがあります!!

日本の大麻取締法は国外において大麻をみだりに所持したり、譲り受けたりした場合などに罰する規定があり、罪に問われる場合があります。合法化されている国であっても、大麻には決して手を出してはいけません。



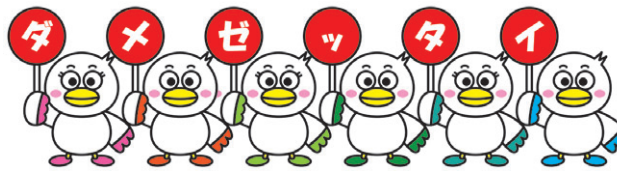
大麻って依存性がないんだよね？

### 依存性はあります!!

初めは少量でも、使い続けるうちに使用量をコントロールできなくなる例は後を絶ちません。大麻は覚醒剤などほかの薬物と比べると、激しい身体症状が出にくいので、自分でも気付かないうちに大麻依存症になっていることがあるのです。

大麻は「ゲートウェイドラッグ」とも呼ばれ、コカインや覚醒剤など、さらに強い副作用や依存性のある薬物の使用の入口となる薬物でもあります。

**大麻に関する誤った情報に流されず正しい知識を持ち、誘惑に対してはきっぱりと断りましょう！**



お問合せ：台東保健所 生活衛生課 医務薬事衛生担当 ☎ 3847-9416

## 緊急事態宣言発令中

### 新型コロナウイルス感染症対策に引き続きご協力をお願いします

感染症対策やワクチン接種などに関する最新情報は、区ホームページをご覧ください。

外出時や会話をするときは**マスク**着用



外出後の**手洗い**の徹底



**3密**(密閉・密集・密接)を避けて行動

人が集まる空間では、こまめに換気しましょう。(冷房中でも、窓を少しだけ開けて常時換気をしましょう)



健康・医療に関する情報は、広報たいとうや区ホームページのほか、メールマガジンでも配信しています(「たいとうヘルスケアニュース」、「たいとう食の安全通信」等)。

検索は、区ホームページ⇒  メールマガジン  検索

その他、健康・医療に関する情報は、

- ・東京都医療機関案内サービス“ひまわり”⇒  東京都 ひまわり  検索
- ・東京都健康安全研究センター ホームページ
- ・厚生労働省ホームページ⇒  健康・医療  検索 等でもご覧になれます。

